

## チャレンジ支援委員会 第2回「おせっかい侍の発表応募支援 STEP1」 報告書

チャレンジ支援委員：天野、鈴木、高村、濱田、家根橋

2023年2月26日 13:00-15:00 オンライン開催

### 「発表のタネ探しー現場の課題や実践を大会・支部集会発表につなげようー」

2022年度第2回「おせっかい侍の発表応募支援 STEP1：発表のタネ探し」（オンライン）には、10名の方にご参加いただきました。テーマ探しに悩んでいる方から、すでに発表経験のある大学院生の方まで、多様な背景の方々が集まってくださいました。また、オンライン企画の強みで、複数の国からもご参加をいただきました。

まず、「第1部：『はじめての発表』の体験談を聞こう」では、犬飼康弘氏（公益財団法人ひろしま国際センター）と大竹春菜氏（筑波大学大学院生：2022年度日本語教育学会春季大会大会若手優秀発表賞受賞者）にご登壇いただきました。長年日本語教育現場でご活躍されてきた犬飼氏からは、新しい実践が発表へ、そして発表が出版へと繋がっていったご経験を、大竹氏からは高校時代に生まれた興味関心の「タネ」を大学・大学院での研究・発表へと育まれていったお話をいただきました。お二人とも、発表し他者から意見をもらうことで「私の実践・研究に価値はあるのだろうか」という不安が和らいだとのお話が印象的でした。

「第2部：グループワーク『発表につなげるタネを一緒に探そう』」では、ブレイクアウトルームを利用して3グループに分かれ、グループディスカッションを行いました。登壇者犬飼氏とチャレンジ支援委員がファシリテーターとして各グループに参加し、いずれのグループも活発に、かつなごやかに対話が進められました。グループワークの後は全体に戻り、グループの様子を共有した後、無事閉会しました。

参加者事後アンケートでは、回答者全員の方から「満足できた」「役にたった」との回答をいただきました。「インスピレーションを得ることができました」「勇気づけられた」「背中を押していただいた気持ち」とのコメントもあり、回答者全員の方が発表応募支援 STEP2、STEP3 両方に参加したいという嬉しい回答もいただきました。

今回の企画では、登壇者お二人のお話を受けて、第2部でも参加者の皆さんが自身の実践や研究に不安を抱えていらっしゃる事が多く語られたようでした。本企画が、「発表のタネ」を探すだけでなく、不安を言葉にし、共有することで、一歩前に踏み出すための場ともなるよう、これからも取り組んでいきたいと思っております。登壇者の先生方、参加者の皆様、ありがとうございました。

